

アメリカ軍によるイラン核施設攻撃に強く抗議します

生活協同組合コープみらい	理事長	熊崎 伸
いばらきコープ生活協同組合	理事長	木村 千秋
とちぎコープ生活協同組合	理事長	塚原 政雄
生活協同組合コープぐんま	理事長	大貫 晴雄
生活協同組合コープながの	理事長	丸山 辰明
生活協同組合コープデリにいがた	理事長	登坂 康史
コープデリ生活協同組合連合会	理事長	熊崎 伸

2025 年 6 月 21 日に発生したアメリカ軍によるイラン核施設への攻撃、並びにこれに端を発した軍事衝突は、国際平和と安全の維持を目的とする国連憲章の理念に反するものであり、コープデリグループは深い憂慮を表明します。

本事態は報復の連鎖を生み、中東地域全体の不安定化を招く深刻な事態に発展しかねません。核拡散防止の取り組みにおいては、軍事的手段ではなく、外交的手段による解決を直ちに進めるべきです。

アメリカ軍による核施設への攻撃は、放射性物質の拡散による深刻な核汚染のリスクを伴い、地球環境全体に長期的かつ甚大な影響を及ぼす可能性があります。また、戦闘・攻撃の拡大により、子どもを含む多数の一般市民の命が危険にさらされ、戦火におびえながら生活を余儀なくされることを強く懸念します。

日本の生協は、日本生協連創立宣言（1951 年）において、「平和とよりよい生活のために」を掲げました。コープデリグループも、この宣言に沿って全国の生協とともに、平和を希求する取り組みを続けています。世界の平和は、武力ではなく、忍耐強い対話および外交による平和解決こそが唯一の道であると確信しています。関係各国には直ちに軍事行動を停止し、当事国のみならず国際社会が対話と交渉による最大限の努力を行うことを強く求めます。

以上